

2026.2.10総合型地域スポーツクラブ研修
「市町・クラブ担当研修会」兼「クラブ視察」



学校法人新静岡学園
静岡産業大学

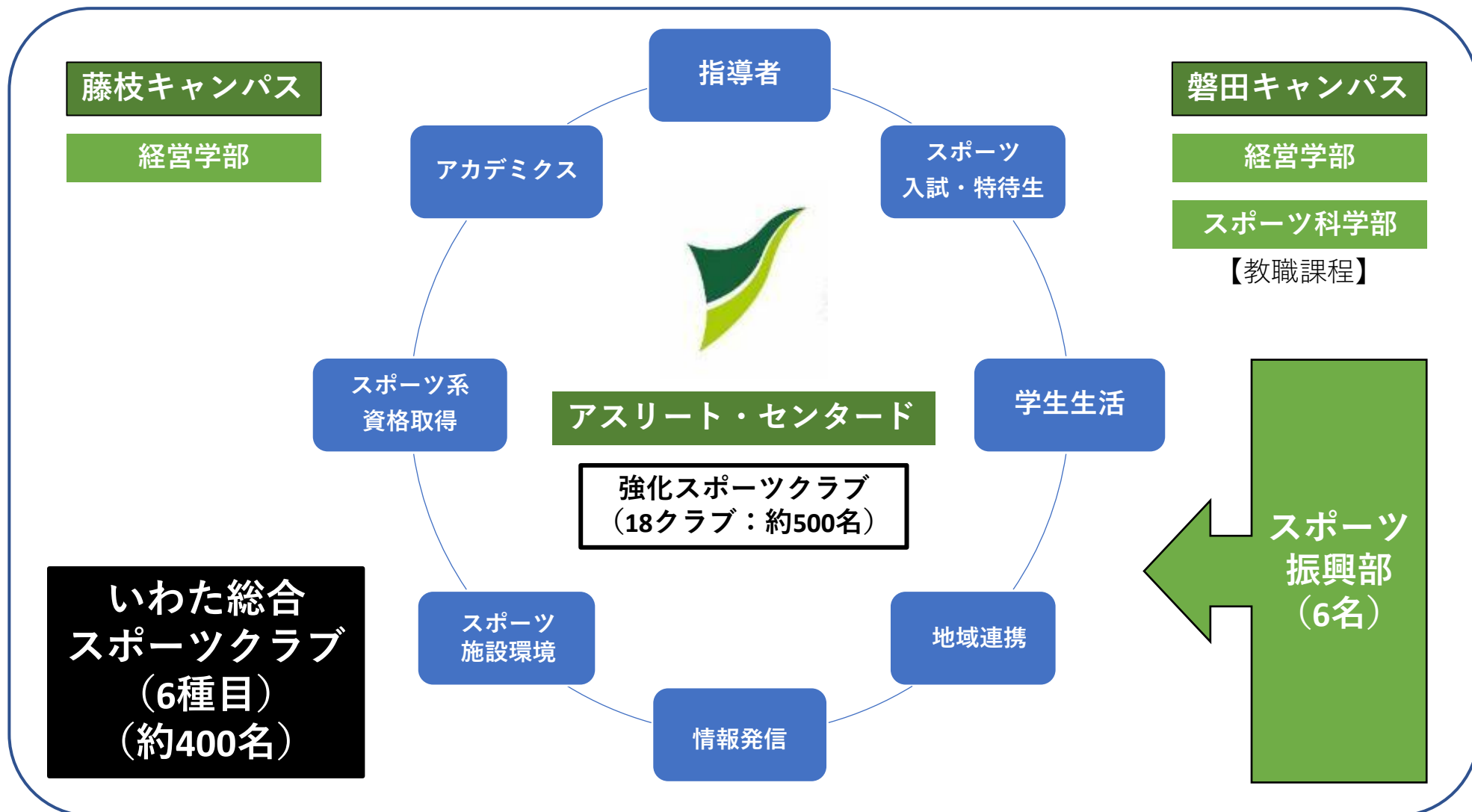
「いわた総合スポーツクラブ」

大学事務局 スポーツ振興部

いわた総合スポーツクラブ事務局

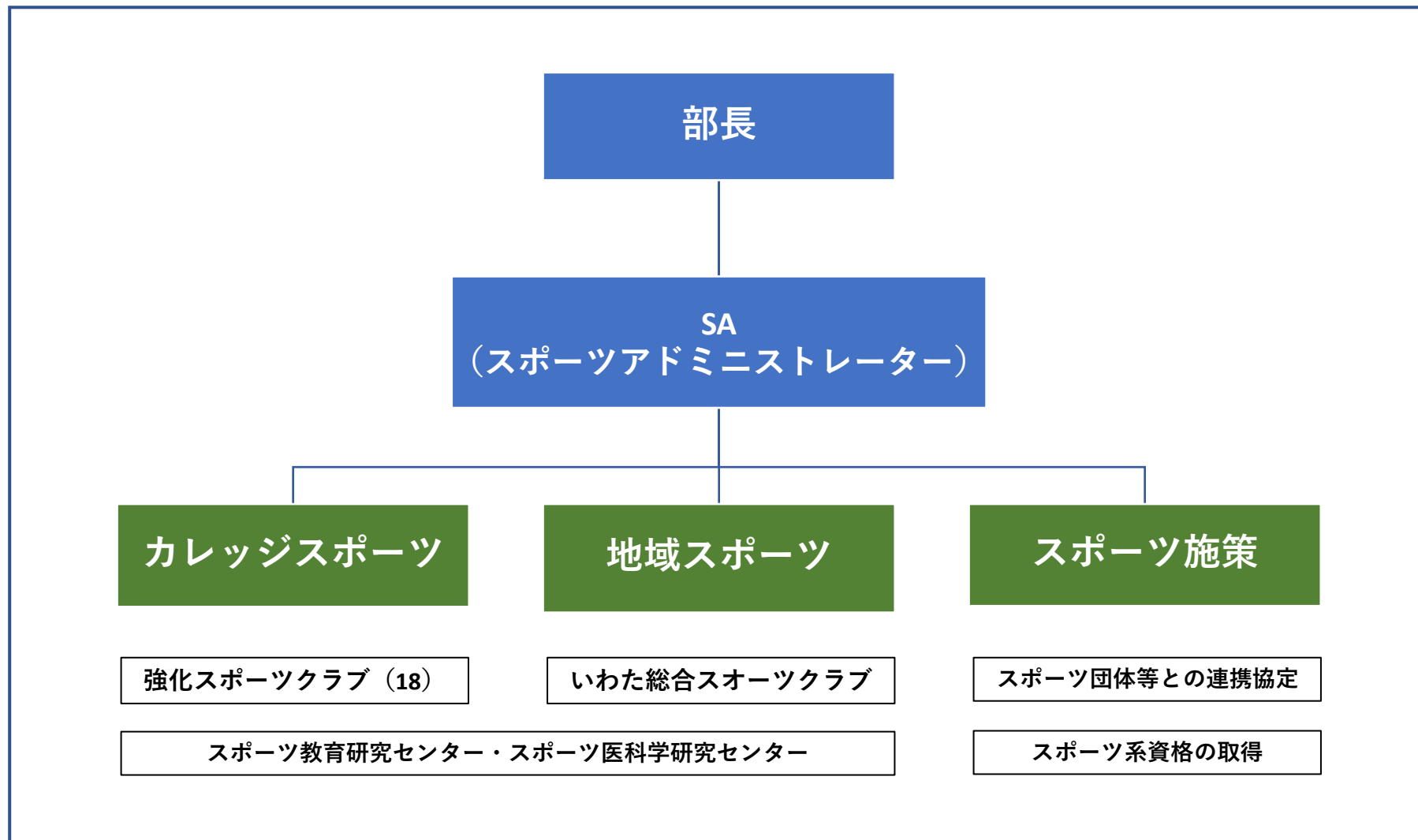
静岡産業大学スポーツ振興部の業務概要

本学のスポーツ活動及び事業を統括することにより「教育・研究・地域貢献」を推進



静岡産業大学スポーツ振興部の業務概要

組織体制（6名）：部長／課長／参与／事務（常勤）／SA（教員2名）



いわた総合スポーツクラブの現状と課題・今後の展開

□現状

① 種目／活動場所／クラブ員・指導者人数 (R7.5.1 現在)

種目	活動場所	所属人数	指導者
にこにこブレ スクール	第3ｽﾎﾟｰﾂﾍﾞﾝﾁﾞｰ等	今年度開講なし	—
サッカー スクール	第1グラウンド	48名	4名
体操 スクール	第3ｽﾎﾟｰﾂﾍﾞﾝﾁﾞｰ 体操アリーナ他	193名(磐田) 44名(高丘)	4名
トランポリン スクール	第3ｽﾎﾟｰﾂﾍﾞﾝﾁﾞｰ 体操アリーナ	69名	2名
柔道 スクール	第3ｽﾎﾟｰﾂﾍﾞﾝﾁﾞｰ 柔道場	30名	1名
ヨガ・ボディメイク	7号館3F ダンス場	25名	1名
6種目		409名	12名

② 予算・決算

	令和7年度予算	令和6年度決算
収入	24,625,000円	25,141,750円
支出	22,288,000円	22,833,759円
差引 (収入－支出)	2,337,000円	2,307,991円

□課題

- 管理運営事務の煩雑さ
 - ・会員管理（入会、退会、休会、コース変更等の手続き）
 - ・会費徴収（口座振替引き落とし不能の発生）
 - ・スクールスタッフ（指導者）の配置（契約、出勤管理、報酬支払）
 - ・学生アルバイト（出勤管理、アルバイト代支払）
 - ・スポーツ保険加入の手続き
- 開設種目の固定化（新規種目の導入・展開が少ない）
- 強化スポーツクラブの活動との調整が必要
- クラブ活動時の保護者送迎・学内駐車場の混雑

□今後の展開

- デジタルプラットフォームの導入・運用を開始
 - ・事務管理アプリによる会員管理、事務連絡、会費徴収
- 送迎・駐車場利用のルールの周知徹底
- 新規種目の開設及び対象年代の拡大について検討
 - ・磐田市中学校部活動地域展開「SPO☆CUL IWATA」との連携
 - ・大学スポーツ資源を活かしたニーズ種目の導入検討
 - ・中学年代を追加対象としたクラブ活動の規模拡大の検討
- 強化スポーツクラブ活動等に還元するための財源確保への取組
- 大会参加の実情を踏まえた広報活動とスポンサー獲得の検討
- 広報PR活動の強化

□規程等

いわた総合スポーツクラブ規程／事務局（スポーツ振興部）

デジタルプラットフォーム（事務管理アプリ）の導入・運用について

～いわた総合スポーツクラブ事務のDX化、事務軽減に向けた方策として～

いわた総合スポーツクラブ事務局（スポーツ振興部）

現状課題

- 連絡体制の不備
- 会計処理など事務の煩雑さ
- 退会などへの適切な対応
- 設置種目の硬直化
- 活動状況の把握が困難
- 経営状況の分析などの欠如

期待できる効果

- 事務軽減・効率化
- 会員との円滑な連絡
- 収支状況の改善・収益向上
- 会員の満足度の向上

事務管理アプリによる運用

hacomono（株式会社 hacomono）

マイページ

- ✓ 見学・体験予約
- ✓ 入会・退会
- 入会キャンセル待ち ※予定
- ✓ アンケート振
- ✓ 替・欠席進
- ✓ 級管理
- ✓ 短期スクール 予約・決
- ✓ 済イベント 予約・決済
- ✓ コミュニケーション機能
- ✓ オンライン物販
- ✓ LINE連携

施設内アプリ

- ✓ 入退館チェックイン（QRリーダー）
- ✓ 入退館チェックイン（iPadアプリ）

決済請求

- ✓ 会費引き落とし（クレジットカード）
- ✓ 会費引き落とし（口座振替）
- ✓ 回数券
- ✓ POSレジ
- ✓ 在庫管理

管理サイト

- ✓ 会員管理
- ✓ クラス編成・定員管理
- ✓ 次締管理
- ✓ 予約管理
- ✓ 売上管理
- ✓ 管理権限管理



システム費用

- 初期費用：0円
- 運用費用：1人1か月199円
（プロプランを採用）
- 年会費（事務費）より支出充当

システム導入・運用スケジュール



部活動の地域展開を踏まえたスポーツクラブの公民学連携モデルの形成に向けて



静岡産業大学

【強化スポーツクラブ：ダンス部】
【いわた総合スポーツクラブ種目：ダンス】

（指導者等の配置）

運営管理事務

大学事務局 スポーツ振興部
いわた総合スポーツクラブ事務局

主催：静岡産業大学DDD実行委員会

クラブ支援・連携

（スポカル・クラブ連動）

指導者・学生派遣

（教室等派遣プログラム）
（アザレアSCとの連携）

合同研修会等

（指導者講習会の企画運営）

連携協定締結先

磐田市教育委員会
放課後活動課
【SPO☆CUL IWATA】

袋井市教育委員会
学校教育課
【F活・ふっくらぶ】

中体連磐周支部

成果発表会の企画・運営

（多種目展開のモデル）

成果発表会の参加

（成果発表の機会の提供）

静岡産業大学ダンスのタベ2026～ダンスダンスダンス～（2026年12月開催予定）

助成申請

大学向け助成

大学におけるスポーツ活動・文化活動への助成（地域スポーツ・文化活動等振興モデル拠点事業）

【公益財団法人スポーツ安全協会】

○事業内容：大学が他大学や地方公共団体等と連携協力して募集テーマに関する振興モデルを形成する事業

○助成期間：原則3年間

○助成金額：1事業上限250万円、3か年合計750万円

【令和8年度助成の募集期間：令和7年12月25日まで】



静産大SPORTS 公式アプリが ついに誕生🎉



いますぐアプリを 手に入れよう！

🔍 静産大SPORTSで検索



□本学磐田キャンパスを会場とするスポーツ講習会等の実施協力（SSU SPORTS WEEK）について

SSU SPORTS WEEK

本学が関係するスポーツ関係団体等から磐田キャンパスを開催会場とする講習会等の相談・依頼が多数あったため、スポーツ振興部として、これらの講習会等を包括的にスポーツ広報素材として捉え、「SSU Sports Week」と銘打ち、広報 PR を展開。

本学施設を有効活用するとともに、後援名義等を通じ主催者に対し実施協力を図ることにより、更なる関係性の構築を図る。

対象となるスポーツ講習会等の概要

期日（令和 8 年）	開催時間	場所（磐田キャンパス）	主催者	内容
2/3（火）	13：00—16：00	2301 教室	磐田市（こども若者家庭センター） BELTA	スポーツ×プレコンセプションケアセミナー 学生・アスリートが知っておきたい健康とライフデザイン
2/8（日）	9：00—16：00	第 2 スポーツセンター	NPO 法人 NSCA ジャパン	NSCA ジャパン東海エリアディレクターセミナー （トレーニング講習会）
2/8（日） 10（火）	9：00—12：00 18：30—20：30	第 1 スポーツセンター 第 2 スポーツセンター	NPO 法人磐田市スポーツ協会	磐田市スポーツ協会講習会
2/10（火）	13：00—16：30	6101 教室 （施設見学あり）	静岡県広域スポーツセンター （静岡県スポーツ協会）	総合型地域スポーツクラブ研修 市町・クラブ担当者研修会兼クラブ視察
2/14（土） 15（日）	12：00—17：00 9：00—16：00	第 3 スポーツセンター 6101 教室	公益財団法人日本体操協会	日本スポーツ協会公認コーチ更新研修会兼 体操競技東ブロック指導者講習会

SSU INFORMATION③ 地域おこし協力隊募集

部活動地域展開の「地域おこし協力隊」予算

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行
に向けた環境の一体的な整備

資料5-3

令和7年度予算額（案）
（前年度予算額）

37億円
33億円



令和6年度補正予算額 29億円

方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証 16億円（12億円）
29億円（令和6年度補正予算額）

各都道府県・市区町村の地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を加速する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

- 体制整備**
 - 関係団体・市区町村等との連絡調整
 - コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
 - 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 指導者の質の保障・量の確保**
 - 人材の発掘・マッチング・配置
 - 研修、資格取得促進
 - 平日・休日の役割分担
 - ICTの有効活用
- 関係団体・分野との連携強化**
 - スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学、企業等
 - スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
 - まちづくり・地域公共交通

- 面的・広域的な取組**
 - 地域クラブ活動の拡大
 - 市区町村等を越えた取組
- 内容の充実**
 - 複数種目、シーズン制
 - 体験型キャンプ
 - レガレーション活動
- 参加費用負担の支援等**
 - 国庫世帯の支援
 - 費用負担の在り方
- 学校施設の活用等**
 - 効果的な活用や管理方法

★ 重点地域における政策課題への対応

- 地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を推進する。
- ＜主な政策課題＞
 - 多様なスポーツ・文化芸術体験の機会の提供（マルチスポーツ環境等の整備）
 - 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
 - スクールバス等の活用や地域公共交通との連携
 - 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
 - トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
 - 企業家精神と納税等を含む民間資金の活用
 - 持続的・安定的な運営を担うマネジメント人材の育成
- ＜その他＞
 - 体育・スポーツ・文化芸術系の大学生、バラスリート等を含むアスリート・アーティスト人材等の活用
 - 学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツ・文化芸術活動の拠点づくり
 - 動画コンテンツ等の活用
 - 多様なニーズに対応した大会の開催
 - 運営の効率化のためのシステム整備 等

(2) 課題の整理・解決策の具体化、地域クラブ活動のモデル構築・プロセス明確化、整備促進等

- 事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備の進展に伴う新たな課題の整理・解決策の具体化
- 地域クラブ活動のモデル構築・プロセスの明確化、持続的・安定的な運営に向けた仕組みづくり
- 複数自治体が連携した地域クラブ活動の整備促進方策の展開、全国的な取組の推進 等

※1 補助金等については、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3、
※2 コミュニティスクール（学校運営協議会）等の仕組みも活用。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援 18億円（18億円）

各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒の活動を踏まえた充実した活動とする。（補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3）※1

→ 部活動指導員の配置を充実 【16,251人（運動部：13,178人、文化部：3,073人）】

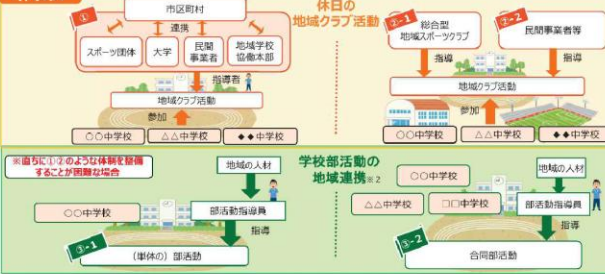
III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等 3億円（3億円）

- 上記の施策等により、新たなスポーツ環境の構築等のため、以下の取組を実施。
- ・中学校の施設の整備・改修を支援（用具保管の倉庫設、スマートロッカー設置に伴う扉の改修等）
- ・指導者養成のための講習会や暴力等の根絶に向けた啓発活動の実施
- ・大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築
- ・デジタル動画による運動部活動・地域クラブ活動のサポート体制整備 等

方向性



※事例抽出・課題の洗い出し、課題解決の検討・検討、地域クラブ活動のモデルプロセスの分析、ガイドラインの見直し、次期改善期間に向けた支援方策の検討



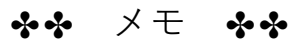
※本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「文化芸術」には、障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学校等を含む。体制例は、あくまでも一例である。（担当：スポーツが地域スポーツ課、文化庁参事官（芸術文化担当））



関係団体・分野との連携強化
スポーツ協会、競技団体、文化芸術
団体、大学、企業等
スポーツ推進委員、地域おこし
協力隊
まちづくり・地域公共交通

磐田市部活動地域展開における「SPO☆CUL IWATA」コーディネーター
磐田市教育委員会HP（募集情報）

<https://www.city.iwata.shizuoka.jp/kyoiku/1014890/1014895/1016134.html>

[illegible]